

鹿骨授業スタンダード推進指導案（音楽科）

1. 指導者 西貝 聡子
2. 会場 第一音楽室
3. 指導学級 2年3組（計30名）
4. 題材名 曲想や音楽の特徴と背景との関わりを理解し、聴き味わう
「交響曲第5番ハ短調」第1楽章（ベートーヴェン作曲）
5. 単元の重点とする目標
 - ・曲の特徴とその背景との関わりについて理解する。
 - ・知覚したことと感受したこととの関わりや評価とその根拠について考え、曲のよさや美しさを味わって聴く。
 - ・音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に鑑賞の授業に取り組む。
6. 単元指導評価計画（3時間扱い）
 (知)知識・技能 (思)思考・判断・表現 (主)主体的に学習に取り組む態度

時	学習目標	学習活動	評価規準との関連			評価規準(評価方法)	具体的な生徒の姿
			知	思	態		
本時	ソナタ形式を理解しよう。	・動機、第1主題・第2主題を部分鑑賞する。 ・第1楽章を鑑賞し、ソナタ形式を理解する。 ・学習のまとめをする。	○	○		(思) 動機、第1主題・第2主題を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ、その関わりについて考えている。(ワークシート) (知) ソナタ形式について理解している。(ワークシート)	・動機、第1主題・第2主題を聴き、感受したことをワークシートに記入している。 ・ソナタ形式を理解し、ワークシートに記入している。
	曲想と音楽の特徴との関わりを理解し、曲のよさや美しさを味わって聴こう。	・ソナタ形式の部分鑑賞をし、曲想と音楽の特徴との関わりを考える。 ・グループのまとめを学級全体で共有し、音楽を聴き確認する。 ・学習のまとめをする。	○			(思) 音色、リズム、旋律の働きが生み出す特質や雰囲気を感じ、音楽の特徴との関わりについて考えている。(ワークシート) (主) 音楽の特徴に関心を持ち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組んでいる。(観察 ワークシート)	・ソナタ形式の部分鑑賞をし、意見交換をしながら、ワークシートに記入している。 ・全体共有し、新たな発見や気づきを加筆している。
	作曲者の意図を考え合わせ、学んだことを根拠にして批評文を書こう。	・曲の背景を知り、学んだことを根拠に批評文を書き、全体で共有する。 ・学習のまとめをする。	○			(思) 曲想と音楽の構造との関わりや作曲者の意図を考え、曲のよさや美しさを味わって聴いている。(ワークシート) (主) 曲想と音楽の構造との関わりや作曲者の意図を考え合わせることに興味を持ち、主体的・協働的に鑑賞の授業に取り組んでいる。(ワークシート)	・曲の背景を理解し、根拠をもって批評文を書いている。 ・全体で共有し、考えを深め、題材のまとめをしている。